

バイオミメティクス研究センター活動報告

バイオミメティクス研究センター

2018年度も昨年度に引き続き毎月のセミナー（バイオミメティクス市民セミナー）を開催した。会場は北海道大学 総合博物館 1 階、時間は午後 1 時 30 分から午後 3 時 30 分である。

本セミナーは北海道大学総合博物館が主催し、高分子学会北海道支部、北海道大学電子科学研究所、特定非営利活動法人バイオミメティクス推進協議会（理事長：下村政嗣）が共催し、バイオミメティクス研究センターが協賛したものである。

詳細は以下のURLでも参照可能である。

<https://www.museum.hokudai.ac.jp/lifelongeducation/publicevents/cat/biomimetics/>

（ただし、本紀要発行日以降分については予定である）

- (1) セミナー76：2018年 4月 8日（日）
「近代国家日本とバイオミメティクス」
下村政嗣（千歳科学技術大学）
針山孝彦（浜松医科大学）
下澤楯夫（北海道大学名誉教授） モデレーター
- (2) セミナー77：2018年 5月 5日（土）
“北海道とバイオミメティクスを考える その1 バイオミメティクスの動向”
「生物学と博物館学から見たバイオミメティクス動向」
大原昌宏（北海道大学総合博物館）
- (3) セミナー78：2018年 6月 2日（土）
“北海道とバイオミメティクスを考える その2 農業とバイオミメティクス”
「北海道からはじまった我が国の遺伝学、必然性と模倣と独自性」
貴島祐治（北海道大学大学院農学研究院）
- (4) セミナー79：2018年 7月 7日（土）
“北海道とバイオミメティクスを考える その3 寒冷地とバイオミメティクス”
「北海道と流氷：流氷の減少とその影響」
深町康（北海道大学低温科学研究所北極域研究センター）
- (5) セミナー80：2018年 8月 4日（土）
“北海道とバイオミメティクスを考える その4 デザインとバイオミメティクス”
「インタラクションの視点でデザインする持続可能なパッケージング」
福田大年（札幌市立大学デザイン学部）
- (6) セミナー81：2018年 9月 1日（土）
“北海道とバイオミメティクスを考える その5 花、美、武士道とバイオミメティクス”
「北海道から青年たちは旅立った、武士道とキリスト教徒自然探求」
高橋大作（一般社団法人新渡戸稲造と札幌遠友夜学校を考える会）
「全天周の美」
馬場ふさこ（映像作家）
- (7) セミナー82：2018年 10月 6日（土）
“北海道とバイオミメティクスを考える その6 博物館の役割”
「日本で初めての国立自然史博物館を沖縄に！」
馬渡駿介（北海道大学名誉教授）

- (8) セミナー83：2018年 11月 3日（土）
“北海道とバイオメテイクスを考える その7 持続可能なパッケージング”
「“紙でできることは紙で”～日本製紙による持続可能な包装材料の開発～」
内村元一（日本製紙株式会社）
「撥水技術で紙は変わる」
辻井薫（元北海道大学教授）
- (9) セミナー84：2018年 12月 1日（土）
“北海道とバイオメテイクスを考える その8 動物と人との関係誌”
「一番小さな哺乳類 トガリネズミのお話」
大館智志（北海道大学低温科学研究所）
「トウキョウトガリネズミが私たちに語ること」
河原淳（環境省希少野生動植物保存推進員）
- (10) セミナー85：2019年 1月 13日（日）
“北海道とバイオメテイクスを考える その9 北海道の自然と環境”
「NHK番組制作現場から見た北海道の自然」
黒田未来雄（NHKプラネット北海道支社）
「アリジゴクの巣穴づくり行動」
渡部友子（市立札幌大通高校生物部）
- (11) セミナー86：2019年 2月 9日（土）
“北海道とバイオメテイクスを考える その10 持続可能な街づくり”
「生き物から学ぶまちづくり ～バイオメテイクスによる都市の生活習慣病対策～」
谷口守（筑波大学）
利用価値を生み出す工学—人間工学とサービス工学—
小林大二（千歳科学技術大学）
- (12) セミナー87：2019年 3月 2日（土）
“北海道とバイオメテイクスを考える その11 生物誕生の根源と生物の可能性”
「ミドリムシで飛行機を飛ばせ! -スーパー細胞を検索せよ-」
与那嶺雄介（北海道大学電子科学研究所）